

令和2年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 第6学年

| | 授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題) | 具体的な授業改善策 |
|----|--|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 書く材料が見つからなかったり、書く内容が広がらなかったり、書くことへの抵抗感が見られるため、書きたいという意欲を高める必要がある。 適切な表現で書く力が弱く、段落の設定や適切な文末表現の選択など、基本的な書き方の習熟にも課題が見られる。 人前で話すことへの抵抗感を感じる児童が多い。伝えたいという意欲を高める必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ○日常的に短文を書く機会を設けて書くことへの抵抗感を減らすとともに、意欲的に取り組めるような題材を提示する。 ○どのように書けばより適切に伝わるようになるか考えて、下書きを推敲させる。グループで推敲前後の文章を比べる活動を通して、友達の文章のよい点から学べる機会をつくる。 ○表現の幅を広げるために、読書を推し進める。 ○スピーチを定期的に行い、時間内で自分の考えを効果的に伝える練習の場をつくり、仲間同士で学び合えるようにする。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> 知識量の多い児童と、ほとんど先行知識がない児童が共にいるなかで、両者ともに主体的な学習ができるようにしていく必要がある。 実体験に結びついた思考が苦手であり、根拠のない結論を出してしまう傾向がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ○実体験や身の回りの社会的事象を取り上げて、学習課題を自分たちで考え、追究していく学習を多く設定する。厳選した資料を提示することで、児童の問題意識と学習への意欲を高める。 ○単元のまとめでは、学んだ知識をもとに自身の生活とどう結び付けていくかを考えさせることで、客観的な事実に基づいて考えを組み立てられるようにする。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> 文章題の意味を読み取り、正しく立式に結びついたり、一つの問題に対し、様々な視点から解き方を考えたりなど、数学的な考え方や説明する力の育成が課題である。 東京ベーシックドリルの結果から、「図形」の領域が弱いことがわかった。特に図形を構成する要素の間の関係を考える力に課題がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ○答えを導き出す過程に価値をおいて授業を進め、考えたり表現したりする楽しさを味わわせながら数学的な考え方や説明する力を育てる。 ○関連する単元を学習する際に、平行・垂直関係にある辺や面を考えさせながら学習を進めていく。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 先行知識だけに頼ってしまう傾向があり知識と知識を結びついたり具体的な実験方法の仕方を考えたり実践したりする力が弱い。「科学的な思考・表現」と「観察・実験の技能」の力の育成が課題である。 | <ul style="list-style-type: none"> ○問題解決型の学習を定着させていく。解決に向けて、問題意識をもって観察・実験を繰り返すことで、技能の定着を図る。また、観察・実験の結果をもとに問題に対して分かったことや考えたことを考察として表現させることで、思考力・表現力を育む。 |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> 姿勢の保持ができないなど基礎体力や体の使い方に課題が見られる。 動き方や体の使い方などの上達するポイントを意識させることが課題である。 友達と作戦を考えたいうえで、自分がどう動けばよいのかを考えながら活動できるようにすることが課題である。 | <ul style="list-style-type: none"> ○動きのポイントとなる資料や自身の映像を活用したり、友達と見合う活動を取り入れたりすることで、客観的・視覚的に体のどこをどう動かせばよいのかを理解できるようにする。 ○資料や体育ノートを活用し、動き方や作戦を選んだり、考えたりする活動を増やすことで、考えながら動く経験を増やしていく。 |
| 道徳 | <ul style="list-style-type: none"> 自己を振り返る際に、表現できなかったり、深く自身を見つめ直すことができなかったりする児童がいる。自分自身についてじっくりと考え、伝えられるようにしていくことが課題である。 意見の共有だけに留まってしまう面がある。考えを広げ、深めていくことが課題である。 | <ul style="list-style-type: none"> ○個人で考える時間を十分に確保できるようにする。そのために、発問を精選する。 ○中心発問を精選し、自分事として問題意識をもって取り組めるようにすることで、より広く深く考えたいという意欲を高めていく。 |